

日本保育協会保育科学研究所

第8回学術集会開催案内

テーマ：多様な保育・教育ニーズに対応するための
保育者の専門性の向上

趣 旨：

質の高い保育・教育を実現するため、専門職としての保育者の育成とその課題を考察することを念頭に、第8回学術集会を開催します。

多様化する保育・教育ニーズに対応するためには、保育所・認定こども園が地域に貢献できる専門性をいかに高めるかが大切です。そのためには園長、保育士、保育教諭等による施設の総合力が問われると思います。第1日目はこれらを基本として職員個々の専門性向上と課題、方法等について様々な視点からの研究を発表します。

さらに、第2日目のプログラムでは、基調講演とシンポジウムにより保育者の専門性向上とこれからの保育実践や政策などについて議論を深めます。

対 象：保育所等の役職員、大学等の教員・研究者、保育・教育行政担当者等
募集人員：100人（先着順）

期 日：平成30年9月7日（金）、8日（土）

主 催：社会福祉法人日本保育協会 保育科学研究所（日本保育協会は日本学術会議協力学術研究団体、日本学術会議教育関連学会連絡協議会加盟団体です）

協 賛：有限会社 日保協

会 場：全国町村議員会館

（東京都千代田区一番町25番地 TEL：03-3264-8185
地下鉄半蔵門線半蔵門駅4番出口徒歩0分、3番・5番出口徒歩2分、
または地下鉄有楽町線麴町駅3番出口徒歩6分）

参加費：日本保育協会会員：5,000円・非会員：6,000円

（当日受付でお支払いください。）

申込手続：4ページの申込書に記入の上、下記あてにFAXでお申込みください。

日本保育協会 FAX：03-3222-2117

申込締切：定員に達した場合、当協会HP (<http://www.nippo.or.jp/laboratory/>)

でお知らせします。

問合せ先：企画情報部（担当：岡田） TEL：03-3222-2114

第1日：平成30年9月7日（金）

13時30分～45分 ・開会の挨拶 大谷 泰夫（日本保育協会理事長） ・日程のご案内（事務局）
13時45分～14時15分 所長講演： 「保育・教育の質向上のために」 潮谷 義子（保育科学研究所長・日本保育協会理事）
14時25分～15時45分 研究発表及び質疑 その1（平成29年度研究4題） ①要配慮児の発達を巡る保育者のスキル形成と専門性の向上に関する研究 袴田 優子（やまと発達支援センターWANTS 指導員） ②外国にルーツをもつ子どもの保育に関する研究 和田上 貴昭（日本女子大学准教授） ③認定こども園化に伴う保育者の専門性の在り方の変化に関する研究 矢藤 誠慈郎（岡崎女子大学教授） ④幼保連携型認定こども園の現場における3歳未満児の教育の質の在り方に関する研究 福沢 紀子（つるた乳幼児園園長） <座長：酒井 治子（東京家政学院大学教授）>
休憩（15分）
16時～17時 研究発表及び質疑 その2（平成29年度研究3題） ⑤保育所・認定こども園における食に焦点をあてた保育・教育ニーズと、そのための保育者の専門性に関する研究 會退 友美（東京家政学院大学助教） ⑥保育現場の視点から捉えた「保育士の専門性」議論の再考 木本 一成（杉の子幼保連携型認定こども園園長） ⑦子どもの主体性を育む保育に関する研究 竹内 勝哉（秋和保育園副園長） <座長：小林 芳文（横浜国立大学・和光大学名誉教授）>

第2日：平成30年9月8日（土）

9時45分～10時45分 研究発表及び質疑 その3（平成29年度研究2題及び平成29年度子ども子育て支援推進調査研究1題） ⑧保育所・認定こども園における保護者からの苦情とその対応に関する研究 青井 夕貴（仁愛大学准教授）
--

<p>⑨家庭保育との比較性からみた保育の観察研究 高木 早智子（花園第二こども園園長）</p> <p>⑩保育所等の情報公開・情報発信に関する調査研究（国庫補助事業） 金子 恵美（日本社会事業大学教授）</p> <p><座長：高橋 紘（至誠保育総合研究所所長）></p>
<p>休憩（15分）</p>
<p>11時～12時</p> <p>シンポジウムの基調講演：「子どもを『理解する』ということ ～保育者の専門性を問い直す～」</p> <p>佐伯 胖 （田園調布学園大学大学院教授、東京大学・青山学院大学名誉教授）</p>
<p>昼休み（80分）</p>
<p>13時20分～16時30分</p> <p>シンポジウム：「保育所・認定こども園における専門性向上のために」</p> <p>保育者の専門性に関しては、養成校の教員・研究者による論文が多く発表されていますが、この専門性の内容について保育現場との間に認識の差がみられます。社会からの期待や要求の多様化と日常業務拡大などの課題も含め、いかに専門性と保育の質の向上を図るかなどについて意見交換します。</p> <p>モデレータ：内田 伸子（お茶の水女子大学名誉教授）</p> <p>提言①「保育の質向上のために求められる総合力」 太田嶋 信之（竜南こども園園長）</p> <p>提言②「家庭との連携に関する保育者の専門性」 北野 幸子（神戸大学大学院准教授）</p> <p>提言③「専門職としての保育者と保育することの原点」 神長 美津子（國學院大學教授）</p> <p>コメント①「保育現場から考える保育士の専門性について」 小笠原 文孝（社会福祉法人顕真会理事長）</p> <p>コメント②「キャリアパスと保育の質向上にむけて」 西村 重稀（仁愛大学名誉教授）</p> <p>パネルセッション及びフロアとの意見交換・まとめ</p>
<p>16時30分 閉会</p>

日本保育協会 保育科学研究所
学術集会申込係 行
F A X : 0 3 - 3 2 2 2 - 2 1 1 7

日本保育協会保育科学研究所 第8回学術集会 参加申込書

フリガナ	
氏 名	
勤務先名	
会員区分	※いずれかに○印を付けて下さい 会 員 (会員施設職員・研究会員) ・ 非 会 員
職 種	※施設長・保育士等を記載して下さい
連絡先住所	※いずれかに○印を付けて下さい 自宅 ・ 勤務先 〒
電話番号	
F A X 番号	

※受付後、参加可能な方にはF A Xにて受講案内をお送りいたします。

※参加費(会員5,000円・非会員6,000円)は当日受付でお支払い下さい。